

京都工業会 ニュース

基本理念

—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

2012 No.371

第44回 通常総会を開催

服部重彦会長を再任

5 / 18

5月18日(金)、京都東急ホテルにおいて、第44回通常総会が会員百数十名の出席のもと、盛大に開催された。

定刻に開会、服部重彦会長が挨拶を行った後、議長に選任され、議事に入った。

当日の議案は次の通り。

第1号議案：第44期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）事業報告及び決算の承認の件

第2号議案：第45期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）事業計画及び収支予算の報告の件

第3号議案：役員の任期満了に伴う改選の件

第4号議案：常勤の理事の年間報酬総額決定の件

第5号議案：京都工業会館の建設凍結（延期）の件

第1号議案については、まず黄瀬専務理事が事業報告の全般について説明。続いて、総務委員会・戸成洋二委員長、企画委員会・北川 尚委員長、技術・教育委員会・太田 稔委員長、中堅企業委員会・竹ノ内壯太郎委員長、中小企業委員会・岡本光三委員長、環境委員会・長畑和典委員長、広報委員会・谷垣哲也副委員長より、各委員会の開催した事業について説明が行われた。また専務理事より、収支決算について説明がなされた。そして監事5名を代表して佐藤博文監事から会計監査の報告がなされ、全員異議なく原案通り承認された。

第2号議案については、専務理事が主要な事業計画と収支予算についての説明を行い、全員異議なく原案通り承認された。

第3号議案については、議長推薦という選任方法について出席者からの承認を受けた後、事務局がその推薦案を読み上げ、全員異議なく承認された。

第4号議案については、専務理事が説明を行い、全員異議なく原案通り承認された。

第5号議案については、専務理事が「平成20年12月開催臨時総会において凍結・延期となった京都工業会館の建て替えについて、最近になり、京都商工会議所ビルの



建て替え・移転問題の中で「経済センター構想」として検討されてきたことから、本会としても同構想に参画していくことも必要であろうし、京都工業会館の建て替えについては白紙に戻すことも含め、当面は正副会長会議に一任いただくことで了承を得たい。」と述べたところ、全員異議なく承認され、以上をもって滞りなく全議案の審議を終えた。

総会終了後、役付理事選任理事会を別室にて開催し、会長に服部重彦氏を再任、更に副会長に作田久男氏、武田一平氏、天野嘉一氏、依田 誠氏、林 泰彦氏、錦織隆氏、片岡宏二氏の7氏を再任した。そしてこれを総会出席者全員に報告し、満場の拍手を受け、服部会長二期目のスタートとなった。

引き続き、京都府・京都市をはじめ関係諸機関より多数のご来賓の臨席を得て懇親会を開催。冒頭、服部会長が挨拶を行い、続いて来賓を代表して太田 昇京都府副知事（京都府知事代理）・門川大作京都市長より祝辞をいただいた後、来賓紹介、この春藍綬褒章を受章された(株)片岡製作所・片岡宏二社長（本会副会長）への記念品の贈呈、そして新入会員（正会員5社・賛助会員1社）の紹介が行われ、賑やかな雰囲気の内に来賓の森瀬正博京都銀行代表取締役専務の乾杯発声で開宴した。

その後は和やかに歓談し、林副会長の閉会挨拶をもって盛況裡に懇親会を終えた。

平成24年度（第44期）事業計画大綱

基本理念：—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

（★：新規事業、または一部新規事業）

(1)事業活動の基盤強化・モノづくりネットワークの拡大・充実をはかる

- ★1) 会員拡大の推進……………年間
- 2) 新春交歓会の開催……………定例
- 3) 京都工業クラブ、鳶の会、白鷺クラブの開催
……………各12回／年
- 4) 他府県産業界との交流……………1回／年
- 5) 委員会活動の活性化……………年間

(2)「モノづくりのためのヒトづくり」の更なる強化をはかる

- 1) 京都高等技術・経営学院の内容の充実……………
研究科3コース／年
 - ア. 電子システム研究科
 - イ. メカトロニクス研究科
 - ウ. ウエルネス研究科
- 2) 生産管理・技術等研究会内容の充実強化……………年間
 - ア. 経営管理懇話会の開催
 - イ. 業務革新研究会の開催
 - ウ. 技術・情報管理研究会の開催
- 3) 技術開発支援強化……………随時
 - ア. テクノロジー&マネジメント研究会の
開催……………13回／年
 - イ. REACH対応特別研究会の開催……………3回／年
- 4) セミナー・工場見学会の開催……………随時
 - ア. 生産革新工場見学会の開催……………5回／年
 - イ. 技能伝承セミナーの開催……………1回／年
- ★ウ. 開発設計ソリューション見学会の開催
……………6回／年

(3)新たな産学公連携の強化による新産業・新事業の創出をはかる

- 1) 京都産学公連携フォーラムの開催……………1回／年
- 2) 産学連携マッチング交流会の開催……………4回／年
- 3) 京都産学公連携機構との連携……………年間
- 4) (独)産業技術総合研究所との連携強化……………年間

(4)経営国際化の推進による新産業・新事業の創出をはかる

- ★1) 2012カナダ・北米産業視察団の派遣……………1回／年
- ★2) 「白鷺クラブ第7次欧州産業視察団」の
派遣……………1回／年
- ★3) 中国モノづくり商談会参加事業の開催……………2回／年
- ★4) 東南アジア展開支援事業の開催……………5回／年

- ★5) 「台湾半導体産業視察団」の派遣……………1回／年

(5)経営革新の研究・追及によりビジネスチャンスの創出をはかる

- 1) 2012生産革新工場見学会の開催……………6回／年
- 2) 2012中小企業見学会の開催……………6回／年
- 3) 中小企業技術幹部交流会の開催……………6回／年
- 4) 京都ハイブリッドテクノロジーネット
事業の実施……………6回／年

(6)環境対策の向上を通じ地域・地球環境問題への対応をはかる

- 1) 環境マネジメントシステム
(ISO14001及びKES)の推進……………年間
- 2) カーボンマネージメントの動向調査と研究
……………年間
- 3) 地球温暖化問題に関するシンポジウムの開催
—京都経済4団体共同事業—……………1回／年
- 4) 京都環境管理研究会の開催……………7回／年
- 5) 労働安全衛生研究懇話会の開催……………7回／年
- ★6) グリーンイノベーション創出セミナーの開催
……………2回／年

(7)地域産業活性化事業への参画と効果的連携をはかる

- 1) 京都経済団体協議会との協調……………随時
- 2) 関係経済団体との協調……………随時
- 3) 関係行政機関との情報交換と協調……………随時
- 4) 京都産業育成コンソーシアムへの参画……………随時
- 5) 北部地域活性化及び舞鶴港活用の支援……………随時
- 6) 青少年と科学の会への支援及び
京のエジソンプログラムの推進……………随時

(8)広報・会員サービス事業の推進をはかる

- 1) 会員企業優秀従業員の会長表彰……………1回／年
- 2) 京都工業会ニュースの発行……………5回／年
- 3) 景況等に関する調査・報告……………随時
- 4) 会員情報交換システムの拡充……………随時
- 5) 要望活動……………随時
- 6) 会員カタログコーナーの設置……………年間
- 7) 各種表彰推薦……………随時
- 8) 会員名簿・要覧の発行……………1回／年

(9)京都工業会館の円滑な運営と有効活用をはかる……………年間

公益社団法人 京 都 工 業 会

〈新 役 員〉

(役職は平成24年 5 月18日現在)
(※は新任)

会 長	服部重彦	(株)島津製作所	会 長	常任理事	前川重信	日本新薬(株)	社 長
副会長	作田久男	オムロン(株)	会 長		※村上 修	第一工業製薬(株)	執行役員 生産管理本部長
	武田一平	ニチコン(株)	会 長		村田純一	村田機械(株)	会 長
	天野嘉一	日新電機(株)	会 長		村田恒夫	(株)村田製作所	社 長
	依田 誠	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション	社 長		山岡祥二	(株)山岡製作所	社 長
	林 泰彦	福田金属箔粉工業(株)	社 長		※山元康裕	関西電力(株)京都支店	支店長
	錦織 隆	(株)日進製作所	社 長		※吉田由紀夫	太平工業(株)	社 長
	片岡宏二	(株)片岡製作所	社 長	理 事	安藤源行	(協)日新電機協力会	理 事 長
顧 問	西八條 實	(株)島津製作所	相談役		井野春重	朝日レントゲン工業(株)	社 長
	寿栄松憲昭	元日本電池(株)	社 長		上野山寛次	上野山機工(株)	社 長
	藤原菊男	(株)島津製作所	相談役		尾池 均	尾池工業(株)	社 長
	田中千秋	元日本電池(株)	社 長		笠井健司	京都府鋳物工業(協)	代表理事
	矢嶋英敏	(株)島津製作所	相談役		川口剛史	(株)日本ジョイント	社 長
専務理事	黄瀬謙治	(公社)京都工業会	専務理事		北村隆幸	メテック北村(株)	社 長
常任理事	石田 明	大日本スクリーン製造(株)	会 長		幸元 攻	サンコール(株)	相談役
	石田隆一	(株)イシダ	会 長		小林剛一	日本電気化学(株)	社 長
	岩田武久	(株)たけびし	社 長		阪口雄次	(協)京都府金属プレス工業会	理 事 長
	宇城邦英	京都機械工具(株)	社 長		里村善啓	宇治電器工業(株)	相談役
	裏辻俊彦	日本輸送機(株)	会 長		島田泰男	(株)菊水製作所	会 長
	大倉治彦	月桂冠(株)	社 長		須河進一	須河車体(株)	社 長
	大宮 正	宝ホールディングス(株)	副社長		鈴木三朗	(株)最上インクス	会 長
	岡本光三	(株)大日本科研	社 長		※鈴木順也	日本写真印刷(株)	社 長
	檜藤達郎	(株)カシフジ	社 長		瀬川 孝	旭光精工(株)	会 長
	川村 誠	京セラ(株)	会 長		土田 修	大日本印刷(株)包装事業部	専務取締役担当役員
	小原 勉	(株)工 進	社 長		根来紀行	(株)松 風	社 長
	塩田展康	日東精工(株)	社 長		野上幹夫	(公社)京都工業会	理事・事務局長
	砂崎進一郎	(株)砂崎製作所	会 長		※野田保博	(株)富永製作所	取締役営業本部長
	竹ノ内壯太郎	三和研磨工業(株)	社 長		橋本 進	(株)京都製作所	社 長
	塚本耕二	(株)モリタ製作所	社 長		水主邦彦	太陽機械工業(株)	会 長
	塚本能交	(株)ワコールホールディングス	社 長		森川真伍	(株)森川製作所	社 長
	津田幸平	津田電線(株)	社 長		山中泰宏	旭金属工業(株)	社 長
	富田泰溥	星和電機(株)	名誉会長		※山本 正	丹後機械工業(協)	理 事 長
	友納文隆	三菱自動車工業(株)	パートタイム製作所 所長		吉田典生	三和化工(株)	社 長
	中西正夫	(株)川島織物セルコン	社 長		渡邊 壯	松下精機(株)	社 長
	坂東和彦	T O W A (株)	会 長	監 事	井上哲次	京都精工電機(株)	会 長
	平田 弘	グ ン ゼ (株)	社 長		河原耕嗣	(株)宮木電機製作所	社 長
	藤田正樹	大阪ガス(株)	常務執行役員 京滋地区総支配人		佐藤博文	エンゼル工業(株)	会 長
	堀 英二郎	太陽精機(株)	副社長		中沼 壽	中沼アートスクリーン(株)	会 長
	堀場 厚	(株)堀場製作所	会長兼社長		中野秀紀	明光精器(株)	社 長

「京都産業エコ・エネルギー推進機構」発足

7/5

7月5日、京都府・市と京都産業界による「京都産業エコ・エネルギー推進機構」が発足し、オール京都一丸となったエコ・エネルギーの推進体制がスタートを切りました。

本機構は、平成20年に設立した「旧京都産業エコ推進機構」を発展・改組し、これまでの「新たなエコ産業の創出」や「中小企業のエコ化支援」に加え、「再生可能エネルギーなどを導入し、エネルギー自立化を図る他企業の経営モデルとなる事業」や、「創エネや省エネの社会貢献型ビジネスモデルを構築するエネルギー関連事業」などに取り組むこととしています。

【事務局】 公益社団法人 京都工業会内
京都市右京区西京極豆田町2
TEL.075-323-3840 FAX.075-323-3841
URL <http://www.kyoto-eco.jp/>
E-mail info@kyoto-eco.jp

代表 表／

(公社)京都工業会 服部重彦会長 (株)島津製作所会長
構成団体／

京都府、京都市、京都商工会議所、(公社)京都工業会、
(公財)京都産業21、(財)京都高度技術研究所、
(公財)関西文化学術研究都市推進機構、
京都リサーチパーク(株)、(公財)大学コンソーシアム京都、
京都産業育成コンソーシアム

主な事業／

■エネルギー創出・普及事業

- エネルギーの自立化対策事業
- グリーンカンパニー育成事業

■エコ産業の創出・振興、エコ化推進事業

- 環境共生型産業創出事業
- 京都エコ・エネルギースタイル製品振興

■情報発信・会員交流事業

- ポータルサイト開設・運営
- 展示会出展等

服部会長の会員企業訪問レポート

6/18

服部会長が会員企業と親しく交流するとともに、工業会事業への一層の参画を呼びかけるため、昨年に続く第2弾として、6月18日に伏見区にあるミヤコテック(株)と(株)寺内製作所を訪問した。

ミヤコテック(株)

市川克一社長によるアイデア一杯の熱い想いをお伺いした。1961年創業の会社の事業の柱を主業である精密プラスチック成型に加え、「創業50周年」を機に「チャレンジ50」



として新たな柱を創造すべく、環境対応型の古紙やコーンスターチを原料とした発泡体事業に取り組み、京都市の「オスカー賞」に認定された。また、第3の事業としてお客様の生産ラインのお困りごとを解決しようと、技術力を応用した機械・装置を製作するJES(J:治具、E:電気、S:システム)事業をスタートされた。もちろん既存事業の強化も忘れず、他府県の企業ともコラボしてインサート成形(樹脂素材と金属パーツの一体成形)技術を更に高度化・高精度にする事によって、経済産業局より「新連携」事業に認定された。

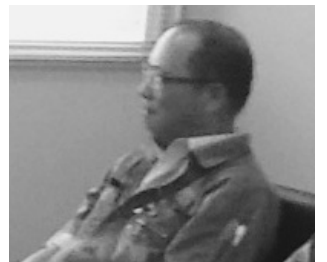
高い加工技術に支えられた高付加価値製品の開発を目指し、「楽しく、伸びる会社」と語る市川社長。

市川社長のアイデアは尽きることなく、「これからは、環境、健康、介護がキーワード」だとして新たな事業にも意欲的にチャレンジされている。

服部会長は、「安定した基盤事業の上に新しい事業を立ち上げようとする市川社長の熱意と行動力に感銘を受けた」と述べられた。

(株)寺内製作所

山本賀則社長が現場に根差し、自らの考えを明確に示す経営理念を語られた。航空・宇宙・ガスタービン機器等に要求されるねじ部品・精密機械加工部品を得意とするが、



1913(大正2)年創業の老舗。もともと産業機で出発し、戦前戦中は軍需産業、戦後はねじを中心とし、航空自衛隊の発足当初から防衛庁の指定登録業者。2002年に一般産業分野から撤退し、航空宇宙産業に特化され、一般産業機の従業員を全員航空機の仕事に移された。

品質管理は厳しい。2003年にJISQ9100の認証取得。民間航空機ではNadcapという国際認証制度を非破壊検査(2007年)と熱処理(2010年)について取得。トレーサビリティ、材料調達能力も求められる中、機械加工、鍛造加工から熱処理、表面処理まで一貫生産体制が強みで、間接部門の人員比率が高いのも特徴。

小さくてもキラリと輝く企業をめざして「人を大切に」し、働きやすい職場作りに努められ、「愚直に、真面目に、情熱をもって取り組む」という山本社長の姿勢は、会社の目標を外壁に掲示するというオープンさ。

服部会長は、「集中と選択により高付加価値の製品に特化して成功している。現場を知り尽くした山本社長のリーダーシップが素晴らしい」と述べられた。

平成24年度 会員企業優秀従業員定例表彰

5/11

～ 60 氏 を 表 彰 ～

5月11日(金)午後、平成24年度優秀従業員定例表彰が、京都工業会館にて行われた。

まず、受賞者60氏（47社）を代表して、北野明美氏（三和研磨工業(株)）へ服部会長から表彰状と記念品が授与された。

続いて同会長の式辞、来賓の京都府商工労働観光部 理事兼雇用政策監 安楽岡 武氏、京都市産業観光局長 白須 正氏の祝辞の後、受賞者代表として大前初男氏（宇治電器工業(株)）が謝辞を述べた。そして最後に、本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、同表彰式を終えた。



〈受賞者名〉 (以下敬称略)

(株) イ シ ダ 岸 場 敏 弘	(株) 佐 藤 製 作 所 片 岡 圭 司	日 新 電 機 (株) 藤 井 三 郎
(株) イ シ ダ 阪 本 浩 一	三 和 化 工 (株) 柴 田 智 良	日 新 電 機 (株) 丸 田 正 五
(株) イー・ピー・アイ 田 中 信 吉	三 和 研 磨 工 業 (株) 北 野 明 美	日 東 精 工 (株) 梅 原 幸 浩
一 志 (株) 清 水 郁 二	(株) G S ユ ア サ 新 谷 好 司	日 東 精 工 (株) 安 枝 政 昭
(株) 井 筒 ハ ッ 橋 本 舗 矢 吹 一 夫	島 津 エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株) 山 崎 純 一	日 東 薬 品 工 業 (株) 田 中 叙 哉
宇 治 電 器 工 業 (株) 大 前 初 男	島 津 シ ス テ ム ソ リ ュ ー シ ョ ン ズ (株) 中 嶋 吉 治	日 本 輸 送 機 (株) 長 野 光 信
エ ン ゼ ル 工 業 (株) 桑 島 早 苗	(株) 島 津 製 作 所 上 田 昭 彦	福 田 金 属 箔 粉 工 業 (株) 緒 方 智 美
尾 池 工 業 (株) 川 端 経 夫	(株) 島 津 製 作 所 谷 口 義 幸	(株) 堀 場 製 作 所 大 江 規 夫
大 阪 ガ ス (株) 京 滋 エ ネ ル ギ ー 営 業 部 中 川 忠 雄	星 和 電 機 (株) 三 間 賢 一	三 菱 自 動 車 工 業 (株) パ ー ト レ イ 製 作 所 岩 城 整
大 阪 ガ ス (株) 京 滋 リ ビ ン グ 営 業 部 林 弘 男	太 陽 機 械 工 業 (株) 八 木 馨	三 菱 自 動 車 工 業 (株) パ ー ト レ イ 製 作 所 廣 森 茂 治
(株) カ シ フ ジ 内 田 信 之	太 陽 精 機 (株) 伊 藤 隆 広	(株) 宮 木 電 機 製 作 所 松 原 幸 次
(株) 菊 水 製 作 所 下 川 雅 之	太 陽 精 機 (株) 安 田 好 宏	村 田 機 械 (株) 上 田 喜 之
京 都 機 械 工 具 (株) 本 多 弘 幸	(株) 大 日 本 科 研 小 牧 祥 三	村 田 機 械 (株) 小 野 田 武
ク ロ イ 電 機 (株) 吉 村 寿	ト ク デ ン (株) 辻 本 正 裕	メ テ ッ ク 北 村 (株) 西 岡 健 一
月 桂 冠 (株) 濱 崎 城 作	T O W A (株) 猪 子 石 哲 夫	(株) モ リ タ 製 作 所 岩 井 雅 弘
(株) ゴ ー ド ー キ コ ー 平 田 正 彦	T O W A (株) 松 山 明 生	(株) モ リ タ 製 作 所 林 信 行
(株) 工 進 中 島 達 夫	(株) 藤 堂 製 作 所 田 中 喜 代 和	(株) ユ ー シ ン 精 機 木 村 元 紀
サ ン コ ー ル (株) 黒 田 高 幸	(株) 富 永 製 作 所 寺 田 博	(株) ユ ー シ ン 精 機 米 田 武 彦
サ ン コ ー ル (株) 西 山 俊 昭	(株) 日 進 製 作 所 上 代 勉	開 明 伸 銅 (株) (京 都 伸 銅 会) 宇 野 保
(株) 最 上 イ ン ク ス 藤 島 誠 一	(株) 日 進 製 作 所 中 村 は る み	(株) タイ ョ ー ア ク リ ス (協 京 都 府 金 属 プ レ ス 工 業 会) 村 城 茂

第541回京都工業クラブ

4/20

「日本経済の現状・課題と処方箋」

日本銀行 京都支店長 渋谷 康一郎氏

厳しい経済状況が続く
中、現在の状況と今後の
見通しについて、渋谷日
本銀行京都支店長をお迎
えし、お話を伺った。

豊富な資料をもとに、
日本経済の足元の状況、
そして世界経済の情勢として欧州（債務問題）・米国・
中国を中心に解説をされ、最後に、わが国経済が長期停
滞を脱するためには、新興国を始めとするグローバル需
要の取り込みと、国内需要の掘り起こしが必要であろう、
と述べられた。



第542回京都工業クラブ

5/25

「ヒット事業の作り方—それを生み出す組織とブランディング」

(株)キャリアファーム

代表取締役副社長 松岡 保昌氏

松岡氏は、ファースト
リテイリングの執行役員
として逆風下のユニクロ
ブランドを再構築・躍進
に導いた他、ソフトバン
クのブランド戦略室長と
して「ニ」マークのC I

を導入、更にホークス球団の立上げ推進などの活躍を経
て(株)キャリアファームを創業された、現在注目の気鋭の
コンサルタントである。当日は、企業変革の実例や、強
い技術や製品が生まれる仕組み（人と組織）等について
同氏の豊富な体験事例を基に熱心に述べられ、興味深い
講演となった。



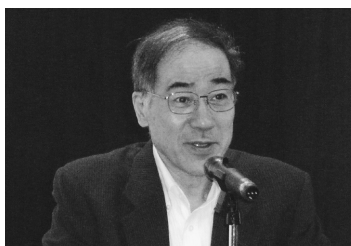
第543回京都工業クラブ

6/22

「エネルギー政策の混乱と今後の電力供給 （関西にとっての原子力発電とは）」

京都大学 原子炉実験所教授 山名 元氏

今夏、電力供給が大きく
不足することが予想さ
れ、原発再稼働への議論
が高まっていることから、
原子力委員会や同安全委
員会、審議会に参画され
ている京都大学・山名教
授を迎え、専門家の立場からの講演を聞いた。



ゴルフ同好会 (KIG)だより

▶平成24年度第1回例会（第197回例会）結果

と き：平成24年 4月26日(木)

ところ：ジャパンエースゴルフ倶楽部

参加者：8名

優 勝 坂 栄孝氏 (株)坂製作所
B G 賞

準優勝 堀 英二郎氏 (太陽精機(株))

3 位 須河 進一氏 (須河車体(株))

▶平成24年度第2回例会（第198回例会）結果

と き：平成24年 6月6日(水)

ところ：蒲生ゴルフ倶楽部

参加者：8名（内、シニア2名）

優 勝 位高 光司氏 (日新電機(株))

準優勝 B G 賞 加藤 俊治氏 (富士ゼロックス(株))

3 位 坂 栄孝氏 (株)坂製作所

▶平成24・25年度新役員を選任

第1回例会終了後、同クラブ内にて総会を開催、役員
任期満了につき、以下の通り新役員を選任した。



新会長
山岡 祥二氏
(株)山岡製作所 社長)



新幹事
堀 英二郎氏
(太陽精機(株)
副社長)



新幹事
吉田 典生氏
(三和化工(株)
社長)



会員募集ご案内

本会ゴルフ同好会(K I G)では、心身のリフレッシュ
と相互の親睦を図るため、ゴルフ愛好者が集い、楽しく、
仲良く、をモットーに会を運営しています。

ゴルフが好きな方、やり始めた方、これからやろうと
いう方、……腕前・年齢は一切問いませんので、お気軽
にご入会下さい。お待ちしております。

〈本年度の今後の予定〉

9月29日(土) 琵琶湖カントリー倶楽部

11月27日(火) 田辺カントリー倶楽部

(例会は、年間4回開催)

2012 第7次欧州産業視察団を派遣

若手経営者グループ・白鷺クラブでは、信用不安の拡大が危惧される欧州、その行方を左右する最大の経済大国・ドイツ、そして高福祉高負担の中で経済が安定しているデンマークの両国へ、白鷺クラブとしては10回目となる海外産業視察団「2012 第7次欧州産業視察団」（団長：中川 仁（株）中川パッケージ社長、団員総数10名）を派遣しました。

6月9日からドイツのドレスデン、ライプツィヒ、ベルリン、ハンブルク、そしてデンマークのコペンハーゲンの各都市の産業動向を中心に視察を重ね、9日間の日程を終え、6月17日、多大の視察成果を携えて無事帰国しました。（※視察詳細は報告書にとりまとめましたので、本紙では旅程のみ掲載させていただきます。）



▲在ドイツ日本国大使館にて、中根大使（前列中央）とともに。

6月9日(土)

- ・（9：50）関西空港発（LH741）
〈フランクフルト経由 LH210〉
- ・（17：10）ドレスデン着

6月10日(日)

- ・午前 ドレスデン市内の産業施設を視察
- ・午後 ライプツィヒ市内の産業施設を視察

6月11日(月)

- ・駐ドイツ日本大使館表敬訪問
大使 中根 猛氏
ドイツ経済ブリーフィングと昼食懇談会

6月12日(火)

- ・ベルリンからハンブルグへの移動

6月13日(水)

- ・午前 ゼロックス グローバル サービス社訪問
(デジタル印刷・製本)
- ・昼 ホリゾン Gmbh社訪問
(太陽精機(株)・現地法人・販売)
- ・午後 ユングハイニンリッヒ社訪問
(バッテリーフォークリフト製造)

6月14日(木)

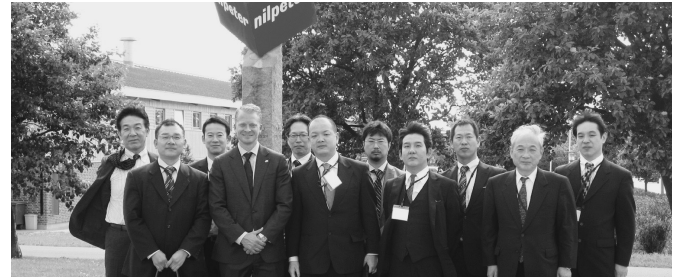
- ・ハンブルグからコペンハーゲンへの移動

6月15日(金)

- ・午前 アイアンポンプ社訪問
(海洋・エネルギー用ポンプ製造)



▲ホリゾン社（ハンブルグ）



▲ニールピーター社（コペンハーゲン）

- ・午後 ニールピーター社訪問

(シール・ラベル印刷機製造)

6月16日(土)

- ・（10：25）コペンハーゲン発（LH825）
〈フランクフルト経由 LH740〉

6月17日(日)

- ・（8：10）関西空港着

鳶の会・白鷺クラブ

4/5

平成24年度 定期総会を開催

4月5日夕刻、鳶の会・白鷺クラブの平成24年度定期総会に両会員30名が出席し、東山区の「翠雲苑」において開催された。

平成23年度の活動報告、平成24年度役員の選任、更には同年度の事業計画について討議を行い、全ての議案について承認された。

〈平成24年度役員〉

代表幹事：

代表幹事：



井尾 賢司君
(井尾製作所・社長)



砂崎 達哉君
(砂崎製作所・社長)

＜新役員＞

幹 事：中川 仁君（中川パッケージ・社長）

〃：坂 栄孝君（坂製作所・社長）

〃：古澤志津夫君（三幸総研・社長）

業務革新研究会・総合オリエンテーションを開催 ～新規参加企業を得て、総勢237名で活動をスタート～

4 / 24

総合オリエンテーション

当日は、先ず12時から「技術・教育委員会と各研究会の正副主査との懇談会」を開催、研究会の運営方法や正副主査の役割などについて、意見を交換した。

その後、13時30分より京都工業会館に総勢237名が一堂に会し、総合オリエンテーションを開催した。

冒頭、技術・教育委員会 委員長 太田 稔氏（日新電機(株)総務人事部主幹）が、「激動の今こそ、他社事例やアドバイザーの講義、演習などから各自の業務革新能力を磨いて、新たな社内BM（ベンチマーク）化へのヒントやノウハウを持ち帰って欲しい」と挨拶。

続いて研究会活動を行う上での基本事項を確認後、(株)日進製作所ツール製造部長 小田一郎氏が「これからのモノづくりに求められること」と題して講演、その後、8研究会は、それぞれに分かれ、年度方針の検討を行った。

5月から本格的な活動がスタートする。

研究会誕生の背景

研究会事業の発端は、1959年に開催された「IE研究会」という講習会にある。

これを機に講習会では解決しない管理技術面での課題を解消するための場を設置しようとの機運が強まり、島津製作所、オムロン、三菱重工業などの大手会員企業が牽引役となって、先ず、1963年に品質管理、生産管理、外注管理、作業、工作の5研究会の設置をみた。その特徴は、

- ①各社の第一線の管理技術者がギブ&テイクをとおして、実務上の問題解決を目指すこと
- ②大手企業が中小企業の管理技術者の養成に貢献することにあった。

以後、50年余の歴史と伝統を刻みながら、一昨年度から事業名を「業務革新研究会」に一新し、より激動の時代に対応できる内容作りを目指している。

平成24年度の方角性

「グローバル競争に勝ち残るものづくり革新力の強化」をテーマに、研究会メンバー一人一人がその業務経験と能力に応じ、1年間の到達目標を設定し、より実践的な演習等を増強していく。当面、前期・基本編（5～9月）においては、アドバイザーの指導を受けながら、

- ①実務の基本を再確認するグループ
- ②経験交流による実践研究を行うグループ

の2グループに分かれ、また、後期・実務編（10～2月）においては、両グループが合流して共通課題を研究する仕組みで1年間の活動を運営する。

平成24年度は、研究会横断的な連携事業を増加させる



と共に、この8研究会を基盤に幅広く内外の業務革新情報の収集、各種大会、特別講演会等の開催、マンスリーレポートの発刊など、外部に向かってタイムリーな情報を発信していく。

研究会の正副主査名 （敬称略）

研究会名	正副主査名・社名
品質革新 (36名)	古谷清司 (株)タイヨーアクリス 大日方則如 (京都機械工具(株)) 湯浅泰伸 (京都電子工業(株))
生産管理 (21名)	吉田幸司 (株)イシダ 河島国春 (日新電機(株)) 中條正幸 (日本輸送機(株))
購買調達革新 (27名)	北条真一郎 (株)島津製作所 南谷晴和 (株)片岡製作所 鳥居大嗣 (旭光精工(株))
生産革新:基礎IE部会 (40名)	岸田正明 (大日本スクリーン製造(株)) 本村美登志 (朝日レントゲン工業(株)) 元林隆平 (亀岡電子(株))
生産革新:JIT改善部会 (21名)	野尻野雅俊 (株)GSユアサ 有蘭敏克 (シーシーエス(株)) 橋本涼 (株)堀場製作所
V E (17名)	天野敦博 (日本輸送機(株)) 熊谷悠輔 (株)山岡製作所 稲葉信彦 (星和電機(株))
生産現場リーダー力強化 (59名)	松田圭司 (株)島津製作所 田中正和 (オムロンソーシアルソリューションズ(株)) 森山貴司 (旭プレシジョン(株))
T P M (16名)	國居保春 (島津プレシジョンテクノロジー(株)) 阪本直輝 (城陽化成(株)) 吉田竜二 (泉電熱(株))

「良いモノづくりの為の女性の会」

平成24年度活動をスタート

平成21年度「品質保証懇話会」の男女ペア登録制導入をきっかけに22年度から活動を行っていた「女性の会」が、今年度より、「良いモノづくりの為の女性の会」という独立事業として活動を行うこととなった。各分野で良いモノづくりに携わる女性スタッフ全てを対象に、異業種交流を通じてヒューマンネットワークを広げ、メンバーの研鑽と資質の向上を図ることを目的とする同会は、今年度は31名もの登録者を得て新しいスタートを切った。



第1回例会は6月22日にフォーチューン ガーデン キョートにて開催、キャリアカウンセラー・コミュニケーションコンサルタントとして活躍されている田中辰幸氏を講師にお迎えし、「輝く女性の為のコミュニケーションブラッシュアップセミナー」と題した研修を行った。女性として、企業人として必要なコミュニケーション力をブラッシュアップすることを目的とした本セミナーは、自分を家電に例えての自己紹介に始まり、①良いコミュニケーションの条件（ルール、前提条件） ②コミュニケーションタイプ（操縦型・促進型・理論型・共感型）

③聞く態度の違いの影響（聞き方の違いによる話し手への影響）等を実際に参加者同士で会話をしながら体験し、あちこちでコミュニケーションの輪が広がり、笑い声も上がる楽しい研修となった。そして最後にコーチングセッションという、問題解決・目標達成のためのプロセスも実際にコンサルタントの方に参加者を対象に実演をしていただき、充実した例会を終えた。

その後、懇親会を開催し、例会で打ち解けたメンバー同士なごやかな雰囲気の中、女性ばかりの華やかな例会は盛況裡に閉会した。

〈関西電力㈱より〉

夏期の節電方法のご紹介

昨夏、昨冬に引き続いての節電のお願いとなり大変恐縮ではございますが、今夏の節電をお願いするにあたり、お客様の業種における電力消費の特徴を踏まえた具体的な節電方法と節電効果をご案内させていただきます。

下記の取り組みを参考にいただき、需給状況に応じて、ご事情の許す範囲で可能な限りの節電にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

節電取り組み方法例	
(下記の効果的な節電項目の取組みにご協力をお願いいたします。)	
照明	使用していないエリアの消灯を徹底（業務上等に支障のない範囲で照明を間引き願います）
空調	室内温度を28℃に設定
	空調機のメンテナンスや設定変更
その他	デマンド監視装置を活用し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施
	自家発電設備（常用）の活用
生産設備	不要または待機状態にある電気設備の電源OFFを徹底する
	電気炉、電気加熱装置の断熱を強化する
ユーティリティー設備	高効率蛍光灯やLED照明への交換
	使用側の圧力を見直すことによりコンプレッサの供給圧力を低減する
	コンプレッサの吸気温度を低減する
	負荷に応じてコンプレッサ・ポンプ・ファンの台数制御を行う
	インバータ機能を持つポンプ・ファンの運転方法を見直す

(出展：経済産業省 夏の節電メニューより抜粋)

節電のお取組みにあたっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないようにご配慮のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

需給状況に応じて、ご事情の許す範囲で可能な限りの節電にご協力をお願い申し上げます。

藍綬褒章御受章の栄



副会長

片岡 宏二 氏

(株)片岡製作所 社長)

本年度の春の褒章が発令され、本会副会長である片岡宏二氏が受章の栄に輝かれました。

会員の皆様とともに、心よりお祝い申し上げます。

〈予告ご案内〉

2012 カナダ・北米産業視察団

【視察国】カナダ、アメリカ合衆国

【日 程】平成24年10月4日(木)～11日(木) 〈8日間〉

【団 長】京都工業会 会長 服部重彦 (株)島津製作所 会長)

月日 (曜)	地 名	スケジュール (予定)
10/4 (木)	成田空港発 トロント着	成田空港集合 空路トロントへ
10/5 (金)	ト ロ ン ト	MaRS (Medical and Related Science) 訪問 トヨタ・モーター・マニファクチャリング・カナダ (TMMC) ケンブリッジ州南工場 訪問 在カナダ・ジェトロトロント事務所長と懇談
10/6 (土)	トロント発 ケベック着	空路、ケベックへ 着後、ケベック市内視察
10/7 (日)	ケベック モントリオール	陸路、ローレンシャン高原(メイプル街道)を 通ってモントリオールへ
10/8 (月)	モントリオール発 ボストン着	空路、ボストンへ 着後、マサチューセッツ工科大学(MIT) 訪問
10/9 (火)	ボ ス ト ン	ジャッド ワイヤー インク社訪問
10/10 (水)	ボストン発 トロント着・発	空路、帰国の途へ (トロント経由)
10/11 (木)	成田空港着・発 伊丹空港着	成田空港経由、大阪へ 到着後、解散

夏の軽装(ノー上着、ノーネクタイ)に
ご理解とご協力をお願いいたします。

★取り組みの内容:

- ・本会主催の会議(工業会館内で開催のもの)への軽装でのご参加をお勧めします。
- ・執務中の職員の軽装を励行しますので、ご理解の程お願いいたします。

★実施期間: 5月23日～9月30日まで

新入会員ご紹介

〈正会員〉(5月11日、第286回理事会で承認されました。)

タ マ ヤ (株)

社長 野 崎 正 和

〒623-0011 綾部市青野町下入ケ口12

TEL.0773-43-4301 FAX.0773-42-0797

紙器製造加工販売、ラベル製造加工販売

(株) 大 興 技 研

社長 吉 谷 正 紀

〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入ル西堀町163

TEL.075-343-6018 FAX.075-352-4140

機械設計、請負、技術者派遣

(株) ケ イ ズ フ ァ ク ト リ ー

社長 小 泉 祥 一

〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城1-4

TEL.0774-45-0999 FAX.0774-41-2710

各種制御装置開発・設計・製造 制御盤設計・製造
装置周り配線工事、F A 装置プログラム設計

環 境 テ ク ノ (株) 大 阪 支 店

社長 堀 比 斗 志

〒564-0053 吹田市江の木町1-6

TEL.06-6192-7601 FAX.06-6192-7606

土壌・地下水の調査及び浄化、ダイオキシン類の分析

(5月18日、第287回理事会で承認されました。)

(株) 高 布

社長 高 谷 謙 次

〒601-8131 京都市南区上鳥羽鴨田22-1

TEL.075-671-7878 FAX.075-693-8250

受配電特高設備
各種生産ラインの運搬、組立、据付、現場管理
(ごみ焼却～半導体液晶設備を含むあらゆる産業機器)

〈賛助会員〉(5月11日、第286回理事会で承認されました。)

総 合 経 営 (株) (長谷川公認会計士事務所)

社長 長谷川 佐喜男

〒604-0845 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町529

ヒロセビル9F

TEL.075-256-1204 FAX.075-256-1231

経営コンサルティング、事業再生コンサルティング
事業継承コンサルティング、企業再編コンサルティング
経営計画策定支援、利益・資金計画策定支援

京都工業会ニュース No.371

■2012年7月20日発行

■発行 ―― 公益社団法人 京都工業会

☎615-0801 京都市右京区西京極豆田町2

TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755

U R L : <http://www.kyokogyo.or.jp>

E-mail : info@kyokogyo.or.jp